



令和4年度 東区自治協議会提案事業
自治会・町内会の運営事例集

はじめに

現在東区には 262 の自治会・町内会(令和 5 年 1 月現在)があり、それぞれの地域で、環境整備活動や、見守り活動、催しの開催など、地域のみなさまから主体的に活動に取り組んでいただいています。

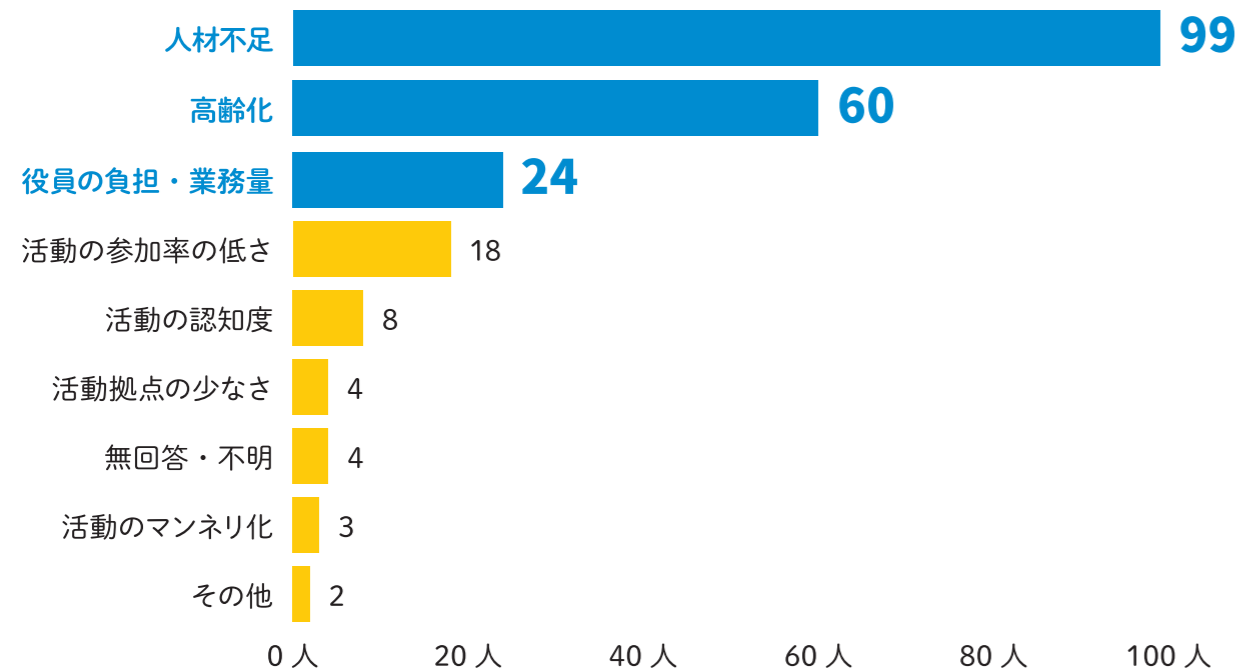
しかし昨今、高齢化の進行や、共働き世帯の増加、定年年齢の引き上げなどにより、担い手(後継者)不足が全国的な問題となっています。令和 3 年度に東区自治協議会が行った「自治会・町内会の活動内容に関するアンケート調査」でも、「人材不足、高齢化、役員の負担・業務量」を課題にあげる自治会・町内会が 8 割以上を占めています。

そこで、東区自治協議会では、先にも示した「自治会・町内会の活動内容に関するアンケート調査」を踏まえ、運営事例集を作成しました。みなさまからはたくさんの取組事例をご紹介いただきましたが、本事例集では、その中から東区自治協議会委員が選び、直接会長様へ聞き取り調査を行った 5 つの事例を紹介しています。

他の自治会・町内会の工夫を知ってもらうことで、少しでもみなさまの活動の負担軽減等に寄与できたら、幸いです。

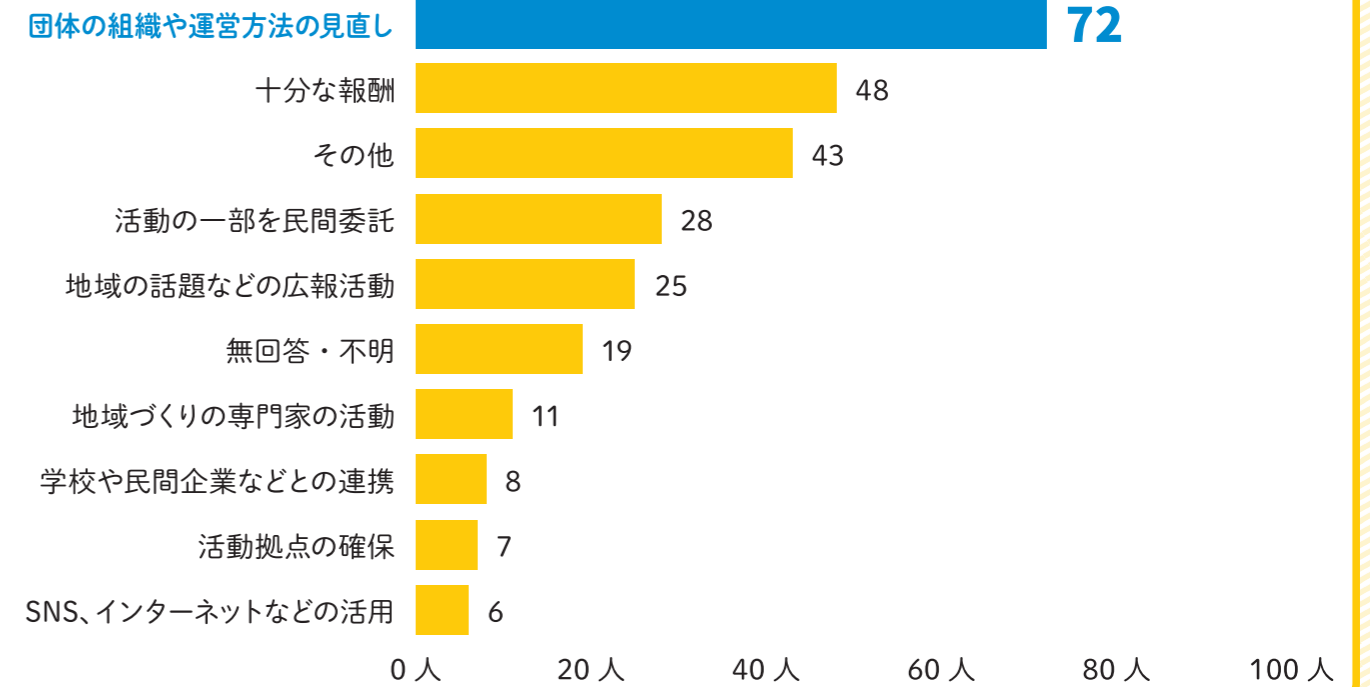
東区自治協議会

東区の現状



▲「活動の中で特に課題となっていることはなんですか?」という設問に対し、「人材不足、高齢化、役員の負担・業務量」で 8 割以上を占めています。

(東区自治協議会「自治会・町内会の活動内容に関するアンケート調査(令和3年度)」より抜粋)



▲「課題となっていることに対し、どのような対応が必要か(複数回答可)」という設問に対し、「団体の組織や運営方法の見直し」という回答が一番多くの割合を占めています。

(東区自治協議会「自治会・町内会の活動内容に関するアンケート調査(令和3年度)」より抜粋)

そこで5つの取組事例を紹介!

- 1 運営方法の見直し** ～他団体への業務の移行～
<海老ヶ瀬自治会>
- 2 活動の一部を民間委託** ～側溝清掃の委託～
<はなみずき自治会>
- 3 加入促進** ～レクリエーションを通じた世代間交流～
<新石山第一自治会>
- 4 加入促進** ～レクリエーションを通じた世代間交流～
<小金町自治会>
- 5 SNS・インターネットなどの活用** ～LINEの活用～
<松崎ニュータウン自治会>

1 運営方法の見直し ～他団体への業務の移行～

海老ヶ瀬自治会

設立 1960年頃
世帯数 420
役員の選出方法 推薦制
役員で最も多い年代 50代～60代
令和5年1月1日時点

2 活動の一部を民間委託 ～側溝清掃の委託～

はなみずき自治会

設立 1997年
世帯数 399
役員の選出方法 輪番制 ※会長、副会長は互選制
役員で最も多い年代 50代～60代
令和5年1月1日時点

抱えている課題

海老ヶ瀬自治会では、役員（特に会長）の担い手が不足しており、平日働いている人でも、会長職を引き受けざるを得ない状況です。

対面での会議が多く、その上で、なかなか若い人から協力してもらうことは難しく、会長職の業務量や負担は増えていく一方です。

課題解決に向けての取組

会長職の業務を少しでも減らすため、役員の間で運営方法や業務内容の見直し、業務の一部の他団体への移行を行いました。同時に役員への労に報いる意味から、役員報酬の見直しも行いました。

- 1.地域の神社のお札の販売など、従来から自治会中心で行っていたものを、神社の氏子の方に行ってもらうように移行しました。
- 2.弥彦神社へ毎年行っている新米奉納作業について、農家組合に全て移行しました。
- 3.例年行っている各家庭への募金活動は全て取りやめて、従来の募金実績を基に総募金額を定め、自治会会計より拠出することにしました。

移行するまでの手順

他団体の代表と話し合いを行い、趣旨を理解いただいたことで、スムーズに移行することができました。また、その内容については、通常総会で説明を行い、全自治会員の承諾を得てから、移行の実施を行いました。

取組による成果等

全ての負担がなくなった訳ではありませんが、単純に業務量が減り、役員への負担を減らすことができました。



抱えている課題

歴史の浅い自治会で昔からの繋がりが深い訳ではないため、役員を代々担っているような家庭はなく、若い世代の方たちは日中仕事があり、役員になってもらうことは難しい状況です。

住民が高齢になっていく一方で、このような状況の中では、側溝清掃はとて大きな負担となっています。

課題解決に向けての取組

自治会面積が広く、側溝清掃を1年に1回、エリアごとに分担して行っていたのですが、コンクリートのふたが重く、重労働でけが等の懸念もあったため、側溝清掃を業務委託しました。



役員からの感想等

住民の負担軽減となりましたが、物価が高騰する中で、委託費用が今後、増加しないかが心配です。

5～10年かけて、可能な範囲で進めていければと思います。

委託にかかる費用

全体として自治会費で賄える程度です。自治会費から賄えるように、活動内容を見直すなどし、エリアを区切り、5年計画で実施するよう工夫しました。また、その年によって、エリアの大きさが異なるため、費用も異なりました。

取組による成果等

重労働から開放され、また、けが等の心配もなくなり、非常に良かったです。



▲業者による側溝清掃の様子

会長からの一言

町内には、大きな公園が2ヶ所あるので、草刈（草取）作業がかなり重労働となっています。今後、工夫が必要と感じています。

会長からの一言

会長職は、今後近い将来に向けて、益々受け手がなくなることが懸念されているところです。当自治会のみならず、全ての自治会における永遠の課題であると思います。この課題を打破するには、今から真剣に将来に向けて、自治会組織の重要性を全自治会員に認識してもらう必要があると思います。

地域コミュニティ協議会や行政と連携しながら取り組んでいくことが重要だと思っています。

3

加入促進

～レクリエーションを通じた世代間交流～

新石山第一自治会

設立 1978年頃
世帯数 560
役員の選出方法 推薦制
役員で最も多い年代 60代～70代
令和5年1月1日時点

4

加入促進

～レクリエーションを通じた世代間交流～

小金町自治会

設立 1960年
世帯数 300
役員の選出方法 輪番制
役員で最も多い年代 70代～80代
令和5年1月1日時点

抱えている課題

役員の高齢化とそれに伴う役員の欠員（毎年3人程度）が出ていて、欠員補充をかけていましたが、すぐに補充できない場合には、会長が業務を代行しており、若い世代に役員になってもらうための働き掛けが急務な状況です。

課題解決に向けての取組

若い世代の方たちと顔なじみになるため、子どもが興味を持ち、親子で参加しやすい行事を開催し、世代間交流をする機会を作りました。新型コロナウイルス感染症の影響で、当初はイベントの開催が難しかったですが、従来の開催方法を見直して感染症対策を徹底し、開催しました。

取組による成果等

年に数人、若い世代の方が役員になってくれるようになりました。行事については、会長が考え提案をする場合もありますが、世代間交流するような行事の際には、若い役員の方たちに実行委員となって進めてもらっています。

その他の取組

イベントを通じた世代間交流以外にも、地域の商店や企業の方たちとの懇親会を開催するなど、地域の人とつながる取組に力をいれ、顔なじみを増やし、地域の風通しを良くすることで、後任役員の人材確保を図っています。また、顔なじみを増やし、絆を強めることが、防災力の向上にも、繋がるものと思います。

抱えている課題

3年程前から深刻な担い手不足に悩んでおり、若い現役世代に担ってもらおうとしても、仕事や子育てが中心となってしまうため、なかなか協力を得られにくい状況です。

課題解決に向けての取組

中学生以下の子どもを持つ家庭が参加しやすい行事（夏祭り等）を開催し、自治会活動へ参加し、理解を得てもらうきっかけが提供できる機会を設けました。

取組による成果等

理解してもらった若い方に育成部員となってもらい、その方から他の若い方に声掛けしてもらい、またその方から若い方に…というような繋がりを作ることができました。

その結果、行事等への理解が生まれ、役員を承諾してくださる方が以前よりも増えました。

例えば、夏祭りを開催→子どもたちに出店をして（手伝って）もらう→子どもたちを見に保護者が来る→行事終了後に一緒に懇親会を開催するという流れができ、そこで、理解してくれる人も増え、役員への承諾へと繋がることもありました。

行事により繋がりを作る以外にも、マスクやゴミ袋を各家庭に配布する等、顔なじみとなる機会を他にも積極的に作っています。



▲七夕祭り開催のようす



会長からの一言

私たちの自治会では、常に地域住民の困りごとに耳を傾け、自治会でできる福祉活動の充実や防災力向上を図ることなどを通して、地域の人たちとの絆の強化を図っています。

また、後任役員となる人向けには、「やってみて・やらせてみて・関わらせてみて・楽しませる」をポイントとしているほか、過去の実績を見える化し、いつでも引継ぎができるようマニュアル化を急いでいます。

会長からの一言

令和2年は、コロナ禍により、自治会主催の主要事業はすべて中止せざるを得ませんでした。

そのため、役員については、年4回開催の役員会における意見交換会は実施できたものの、懇親会は開催できず、なかなか交流する機会がありませんでした。

そのうえ、行事開催時における新規役員候補が見つからなかったばかりか、一部の役員が退職が重なる状況になりました。

少しずつでも行事ができるようになってきたので、これからは、各行事を開催し、役員を再構築を図っていければと思います。



松崎ニュータウン自治会

設立 2002年
世帯数 454
役員の選出方法 輪番制
役員で最も多い年代 40代～50代
令和5年1月1日時点

抱えている課題

松崎ニュータウン自治会は設立から経過年数が浅いため、現役世代の役員が特に多い自治会です。

役職者（3役、部門長）に特に業務が偏っており、役員会、3役会への出席等の役員業務が大きな負担となっています。

中には、日常生活に支障が出ている役員がいる程の状況となっています。

課題解決に向けての取組

負担を少しでも軽減するため、現役世代が多い松崎ニュータウン自治会では、役員同士の連絡手段として、**LINEグループを導入しました。**

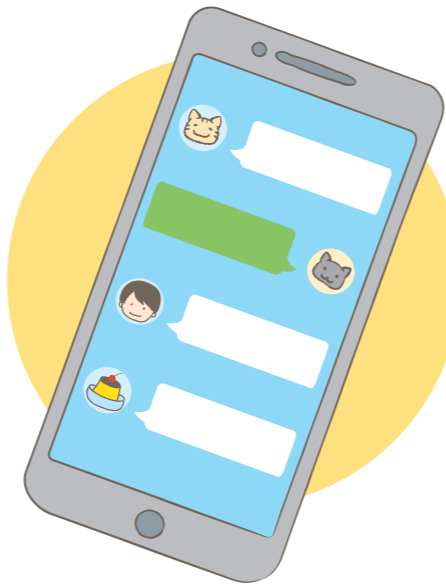
元々役員の多くがLINEを日常的に使用していたこと、また、役員同士が個別にやりとりをしていたこともあり、役員会の際に了承を得て、運用を始めました。

取組による成果等

まずは、約30人いる役員全員への連絡網として活用することができました。

その他に、役員会の議題を事前に共有し、予め内容を把握することで、会議をより中身のあるものにすることができました。

また、複数人で考えることで、一人では思い浮かばないようなアイデアが湧いてくるなど、様々な成果がありました。



役員からの感想等

概ね良好である一方で、LINEを使いこなせていない人や、文字入力に時間がかかる人などからは、LINEグループで議論しても「乗り遅れて会話に入れない」という声もありました。

LINEグループとは…

複数の人と、同時にメッセージのやりとりができるLINEの機能です。

会長からの一言

今後は、スピード感を意識するなら“LINE”、より濃い議論を行うなら“対面”での話し合いと両者の良いところを組み合わせたいです。

他には、掲示板のようなアプリを用いて、住民への連絡事項を回覧板から徐々にデジタルに移行したり、役員全員への共有事項をLINEグループよりも更にスムーズに行えるようにしていきたいです。

ただ、デジタル難民を作らないよう、配慮が必要だと考えています。

自治会・町内会活動への主な補助金等一覧

- 新潟市自治会等事務委託
- 自治会等集会所用地借上補助金
- 防犯灯設置補助金
- 新潟市歩道除雪奨励金交付制度
- 新潟市歩道除雪機械購入補助金交付制度
- 防災土育成助成金
- 新潟市リユース食器普及事業
- ごみ集積場設置等補助金
- ごみ出し支援事業支援金
- 衛生害虫駆除用薬剤購入費補助
- 地域の茶の間支援事業
- 住民主体の訪問型生活支援
- 私道等整備費助成
- 自治会等集会所施設借上補助金
- 自治会等集会所建設費補助金
- 防犯灯電気料補助金
- 地域活動補助金
- 空き家活用推進事業
- 新潟市バス停上屋等整備事業補助金
- クリーンにいがた推進員制度
- 地域清掃活動費等補助金
- 集団資源回収活動奨励金
- 敬老祝会助成事業
- 応急排水ポンプ維持管理費助成
- 自治会除雪助成

上記は令和5年度の制度です。各事業の詳細については、右記の二次元コードからご確認ください。事業によっては、受付が終了している場合があります。



※令和5年3月時点で有効な二次元コードです

<リンク先>新潟市ホームページ

会長が変更となった場合の主な提出書類窓口一覧

自治会等設立・解散・変更届	東区役所 地域課	025-250-2120
口座振替申込書		
告示事項変更届	東区役所 区民生活課	025-250-2285
集団資源回収登録事項変更・廃止届		
ごみ出し支援事業登録事項変更・廃止届	東区役所建設課	025-250-2610
公園愛護代表者変更届		
自主防災組織代表者変更届	東区役所 総務課	025-250-2720
交通災害共済		

他都市の運営事例集

自治会・町内会の担い手不足等は全国的な問題となっており、各都市でも様々な取組をしています。事例集を作成している都市が多くありますので、その中から参考となるヒント集をいくつか紹介します。



北海道
千歳市



「千歳市町内会 活性化のためのヒント集」

2020年3月 千歳市町内会連合会 作成

自治会・町内会を元気にしていくために①進め方②活動③組織運営④情報発信の4つの視点に沿って、様々な課題に対するヒントが紹介されています。

「これからの町会・自治会運営のヒント集 ～誰もが住みよいまちを自分たちの手で実現するために～」

2019年1月 練馬区町会・自治会のあり方検討会議 作成

地域の方から活動の必要性や意義を聞かれた際の回答のヒントや加入者を増やす取組のヒントが、練馬区内の先進事例等を交えて紹介されています。

東京都
練馬区



神奈川県
横浜市



「自治会町内会のための情報交流誌 ハマの元気印 Vol.5」

2018年3月 横浜市市民局 市民協働推進部 地域活動推進課 作成

より充実した地域活動のヒントとして横浜市内の自治会・町内会の特色ある取組(7事例)や外部講師からのアドバイスなどが詳しく紹介されています。

「自治会運営のヒント集

自治会まるごと支援メニュー」

2021年9月 東近江市 総務部 まちづくり協働課 作成

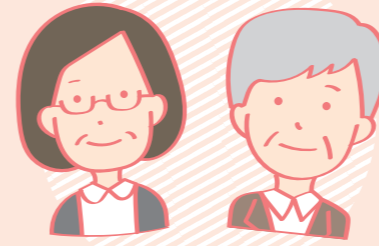
「今、自治会に必要なことは何か」を冒頭で整理したうえで、自治会運営に初めて参加する人にも分かりやすいように、様々な課題に対するヒントが紹介されています。

滋賀県
東近江市



※すべて令和5年3月時点で有効な二次元コードとなります

作成した東区自治協議会委員の感想



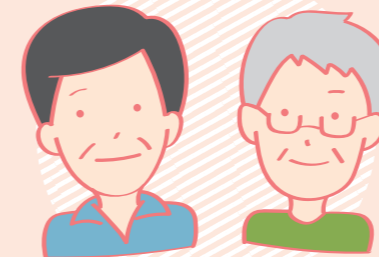
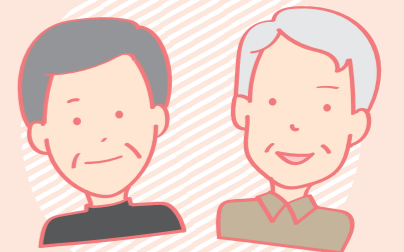
海老ヶ瀬自治会の歴史は古く、農家組合の役割から住民同士の連帯は堅固で脈々と続いていましたが、近頃は農地の宅地化が進み戸建てやアパートが増えるにつれて、若い方が増えた反面、その人たちから活動に参加してもらえず、今後の大きな課題となっているとのことでした。どこの自治会でも起こりうる共通の問題であると思いました。

(月岡委員・行田委員)

LINEグループを使っでの連絡や会議の準備は、時間の制約もなく情報も共有できており、大変勉強になりました。

やはり若い世代の方の発想が必要だと改めて感じ、積極的に参加できるように、自治会・町内会の運営を考えなければと思いました。

(佐藤委員・伊藤委員)



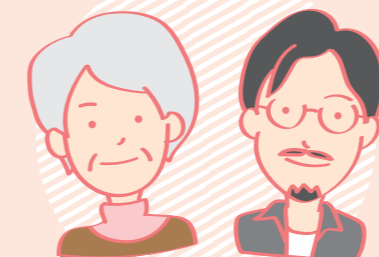
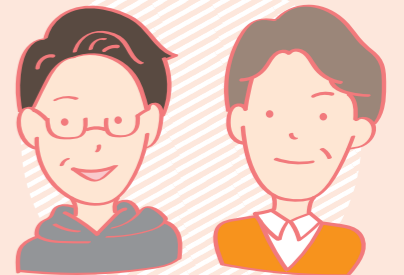
約2年間の取組の結果、ようやくまとめることができました。少しほっとしているところです。

自治会・町内会の人材不足という多くの方が抱えるテーマに一定の成果を出せたという満足感はあるものの、同時に力不足と感じております。今後も考えていきたいと思っています。

(野村委員・近藤委員)


委員として先駆的な活動をされている自治会のお話を実際にお聞きする等、様々な取組を通して、改めて自治会・町内会は地域になくてはならない重要な役割を担う大切な組織であるということを強く実感しました。この取組が、これからの自治会・町内会の活動にいささかなりともお役に立つことができれば幸いです。

(小林委員・大澤委員)



ここ10年で75歳以上の高齢者が倍になっている現状をお聞きし「限られた役員だけでは機能しない」という言葉が印象的でした。「やってみて・やらせてみて・関わらせてみて・楽しませる」をポイントに、不足する担い手解消に努めていて、大変勉強になりました。

(関塚委員・田宮委員)



令和4年度 東区自治協議会提案事業
自治会・町内会の運営事例集

令和5年3月
東区自治協議会 作成
事務局 新潟市東区役所地域課